

健康科学研究科 鍼灸学専攻 修士課程

健康科学研究科 健康科学専攻 鍼灸学分野 博士課程

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各研究科・専攻は、それぞれの教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、専門領域ごとの特色を活かした教育方法による教育・研究を行っています。教育方法の特色ある工夫としては、入学生に社会人が多いことを活かしたフィールドワーク研究を推奨し、研究の成果を社会に還元できることが挙げられます。

【教育方法】

本専攻の教育目的は、広い視野より得た学識を基に、鍼灸医学における研究能力と高度な専門性を有した医療人となるための能力を培うことです。そのため以下の教育方針に沿って教育を行っています。

1. 鍼灸の治効理論を理解し、様々な疾患に対する鍼灸医学的診断や治療法を修得。
2. 西洋医学および東洋医学による病態の把握を学び、東西両医学を融合した治療方法を理解し鍼灸治療の意義を修得。
3. 補完代替医療における鍼灸医学の位置づけを学び、医療全体における鍼灸医療の果たすべき役割に対する深い理解を修得。
4. 鍼灸医学の基礎および臨床面の探求すべき課題において、科学的な検証をもって考察する能力且つ得られた結果を発信する能力の修得。

【教育の特色ある工夫】

- ・ 本専攻のカリキュラムは、健康科学領域の研究及び医療人になるために必須となる研究科の共通科目に加え、様々な鍼灸医学の知見を修得する講義と演習からなる本専攻の専門領域科目、更には修士論文作成をおこなう研究科目によって構成されています。
- ・ 専門領域科目は、「基礎鍼灸学特論」「臨床鍼灸学特論 I」「臨床鍼灸学特論 II」「中医学特論」「疼痛制御学特論」「統合医療学特論 I」「統合医療学特論 II」及び「附属治療院特別演習」の8科目で構成され、それぞれの科目の領域について広い視野に立って精深な知見を修得するため、各分野を専門とする教員を配置し、教員がそれぞれ指導しています。
- ・ 本専攻では、池袋キャンパス内の附属関連施設である帝京池袋鍼灸院、帝京池袋鍼灸臨床センターおよび東洋医学研究所とも連携した基礎及び臨床研究の実施を可能にするなど、教育環境の充実を図っています。

【健康科学研究科 健康科学専攻（博士課程）教育の特色ある工夫】

- ・ 修士課程の7専攻に対応した七つの分野（鍼灸学、柔道整復学、健康栄養学、言語聴覚学、作業療法学、理学療法学、病院前救急医療学）があり、修士課程から博士課程へと続く専門分野の連続性が保たれています。
- ・ 人を対象にした研究が主体であり、研究倫理全般と臨床研究の倫理を理解・修得させる目的で、eラーニングを用いた倫理教育を行っています。
- ・ 多様な医療職種の大学院生が共に学ぶ本専攻では、共通科目の授業等を通じて専門の枠を越えて他職種を理解し連携力を身につけることで、健康科学の広い視野に立って臨床や教育・研究の場で活躍できる人材の育成を目指しています。